

学校名	下諏訪社中学校		
ホームページURL	生徒数 254 名		
(1) テーマ 「生徒一人一人に課題が成立する 総合的な学習の時間の在り方」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 2年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい ・保育実習を通して、幼児理解、幼児福祉に対する関心を高めると同時に、生徒一人一人の自己理解を深める。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・幼児福祉問題の学習 ・園児との関わりを深めるために、園児を惹きつける遊びの工夫 ・保育実習は2日間(一日体験実習と3時間実習)実施 ・学習形態は、保育園別および年齢別グループ 時数(24)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・学年会で活動内容を検討し計画立案実践反省を行なった。 ・実習で保育園に行く場合は、校内で各学年間の授業調整を行なった。 ・学校から離れている保育園へ行く場合はタクシー、バスを利用した。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・授業交換や月暦、週暦で時間を調整し実施 ・家庭科との連携 ・町役場の福祉課や町内6保育園との連携			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・生徒一人一人の成長を認めるために、学習冊子を持たせ自己の成長や課題を記録させた。 ・保育園別に教師を配置し、事前学習や体験学習での生徒の動きを観察した。 ・討論する場面や遊びの工夫の発表会を学習展開の中に位置づけ評価した。			
(8) 成果と課題 ・園児を惹きつける遊びを工夫する中で、共通課題から各自の課題を設定し、課題解決学習が成立するように単元展開を組んだ。 ・全員を保育実習に参加させたが、進路指導の自己理解を深めるという点からもこの学習は位置づくとも考える。 ・今後の課題として、家庭科との連携や時間数の確保が挙げられる。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題